



I 第26週の発生動向 (2025/6/23~2025/6/29)

1. 水痘については、東津軽+青森市保健所管内で**注意報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、三戸+八戸市保健所管内で**警報**が継続しています。
3. 百日咳については、複数の保健所管内で患者が報告されており、特に中南保健所管内及び三戸+八戸市保健所管内の報告数が多くなっています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

II 第26週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

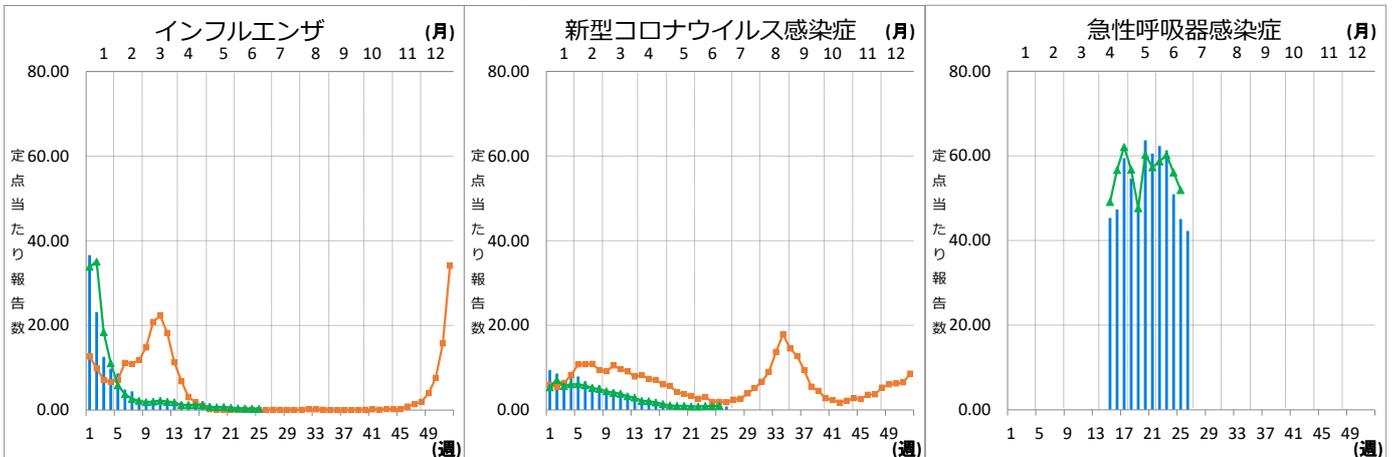
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者報告無し。

	東青 (東津軽+青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性呼吸器感染症	インフルエンザ			1 0.10							1 0.17	2 0.04	-2		
	新型コロナウイルス感染症		2 0.18	5 0.50	17 1.70	2 0.33	15 1.67	1 0.17	42 0.81	27					
	急性呼吸器感染症		659 59.91	288 28.80	334 33.40	235 39.17	334 37.11	348 58.00	2198 42.27	-146					
小児科	RSウイルス感染症					1 0.20				1 0.03	-3				
	咽頭結膜熱		1 0.17	1 0.17	2 0.29	2 0.40		1 0.25	7 0.21	-1					
	A群溶血性レンカ球菌咽頭炎		3 0.50	9 1.50	9 1.29	4 0.80	5 0.83		30 0.88	-3					
	感染性胃腸炎		17 2.83	23 3.83	30 4.29	15 3.00	4 0.67		89 2.62	-2					
	水痘		8 1.33	2 0.33	5 0.71	1 0.20	1 0.17		17 0.50	-2					
	手足口病									-5					
	伝染性紅斑			2 0.33	12 1.71			3 0.50	18 0.53	-10					
	突発性発しん		5 0.83		1 0.14	1 0.20			7 0.21	-8					
	ヘルパンギーナ			1 0.17					1 0.03	1					
	流行性耳下腺炎		1 0.17	1 0.17					2 0.06	1					
眼科	急性出血性結膜炎									0					
	流行性角結膜炎				1 0.50				1 0.10	1					
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0					
	クラミジア肺炎									0					
	細菌性髄膜炎				1 1.00				1 0.17	1					
	マイコプラズマ肺炎		2 2.00					6 6.00	8 1.33	-1					
	無菌性髄膜炎														

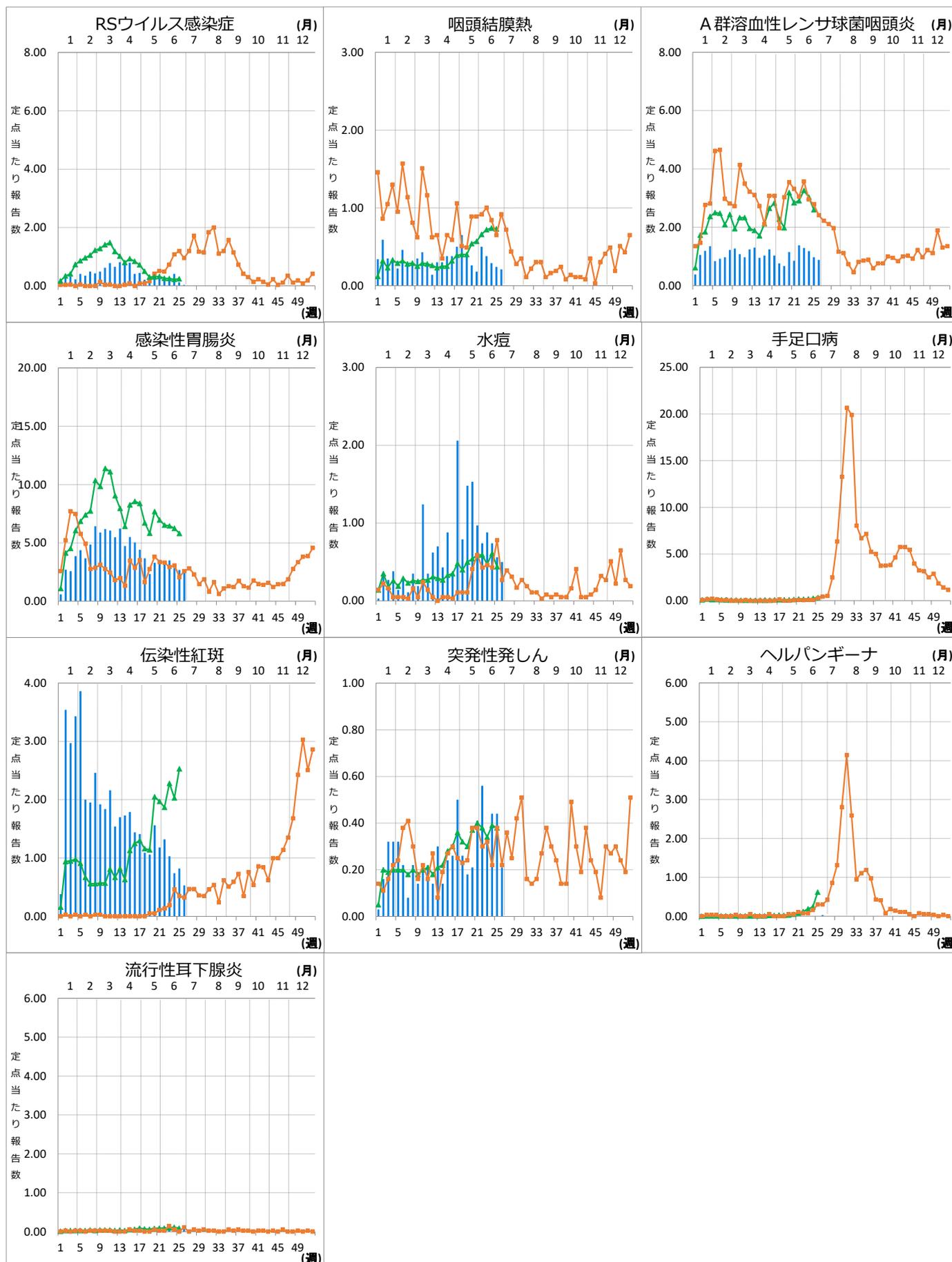
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025年第26週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ← は2025年青森県、■ は2024年青森県、▲ は2025年全国



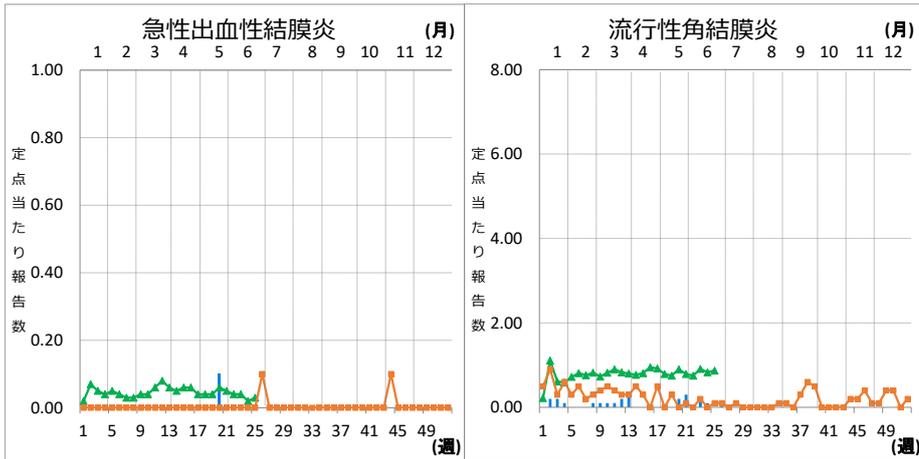
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025年第26週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



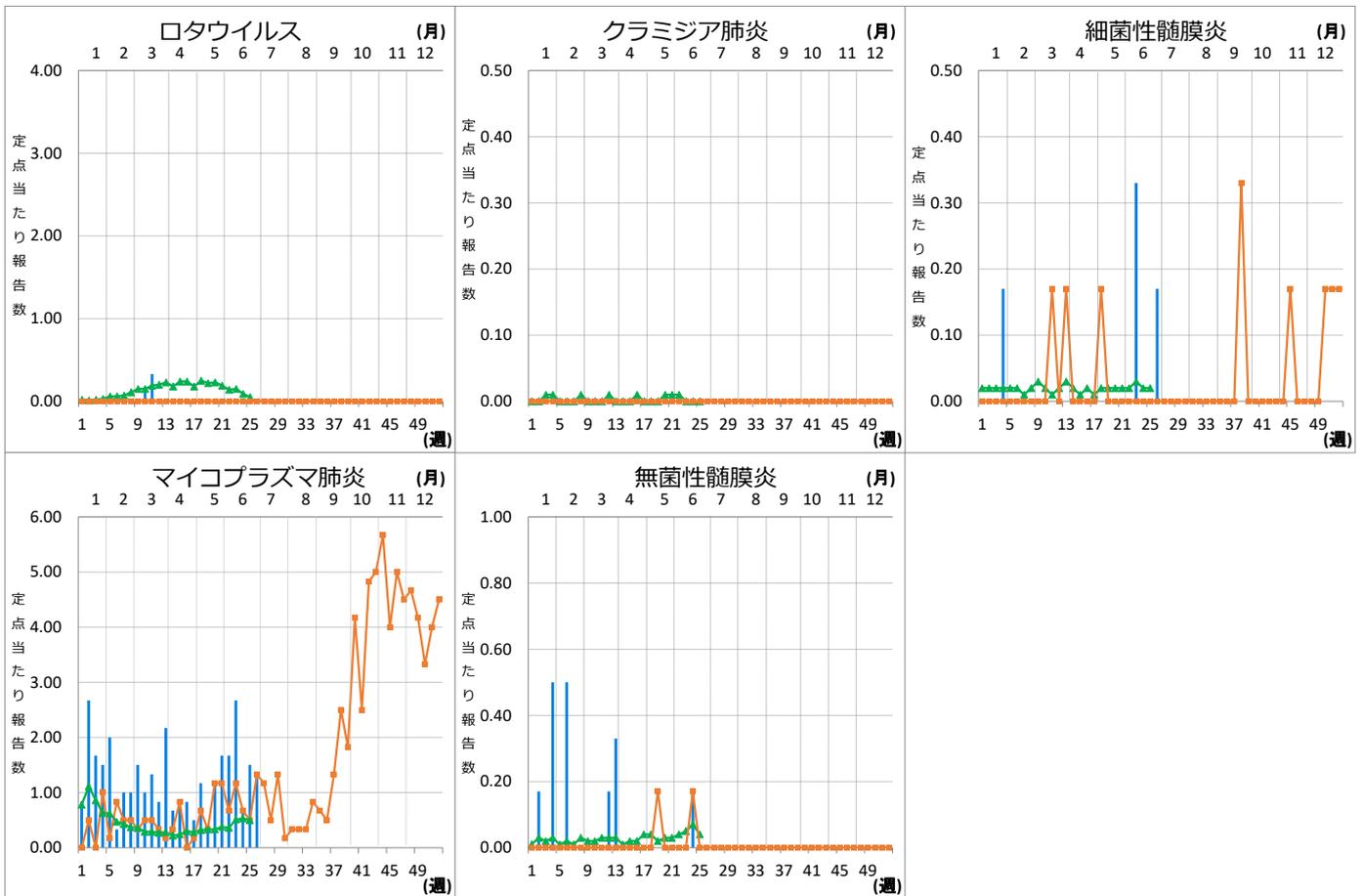
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025年第26週、ただし全国は前週）

グラフの説明   は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025年第26週、ただし全国は前週）

グラフの説明   は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

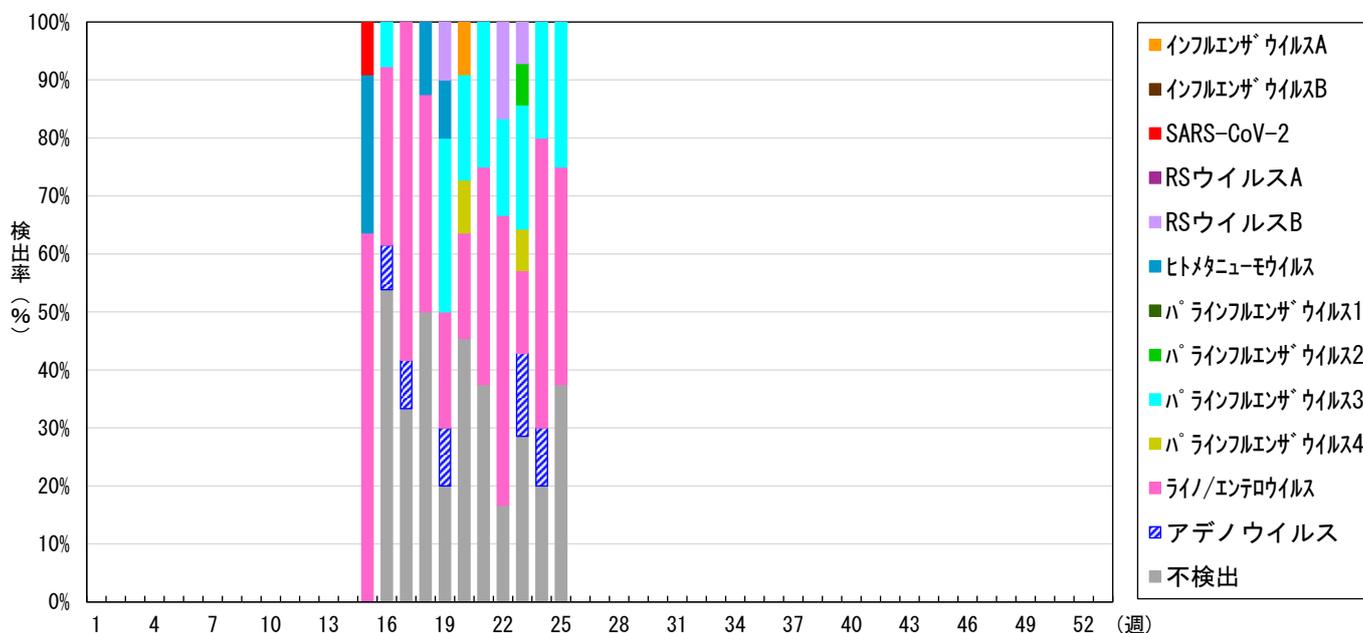
(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 19～26 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
提出検体数	9	11	8	6	11	10	8	7
インフルエンザウイルスA	0	1	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	0
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスB	1	0	0	1	1	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	1	0	0	0
パラインフルエンザウイルス3	3	2	2	1	3	2	2	2
パラインフルエンザウイルス4	0	1	0	0	1	0	0	0
ライノ/エンテロウイルス	2	2	3	3	2	5	3	3
アデノウイルス	1	0	0	0	2	1	0	0
不検出	2	5	3	1	3	2	3	3
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	7

※第19週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが検出されたものが1検体ありました。

※第23週に提出された検体のうち、RSウイルスB、ヒトパラインフルエンザウイルス3及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体、ヒトパラインフルエンザウイルス3及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 26 週）

- ・結核（二類感染症）：青森市 2 人、中南 2 人、八戸市 2 人 (2025 年計： 59 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：青森市 1 人 (2025 年計： 7 人)
- ・つつが虫病（四類感染症）：青森市 1 人 (2025 年計： 13 人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）：青森市 1 人 (2025 年計： 14 人)
- ・百日咳（五類感染症）：青森市 1 人、中南 11 人、三戸 3 人、八戸市 7 人、西北 1 人 (2025 年計： 498 人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 23 週～2025 年第 26 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
23	百日咳5人	百日咳13人	結核1人 E型肝炎1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳15人	百日咳1人	結核2人 百日咳2人	
24	梅毒1人 百日咳4人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳11人	百日咳8人	百日咳1人	結核1人 つつが虫病2人 百日咳2人	
25	結核1人 つつが虫病2人 クロイツフェルト・ヤ コブ病1人 百日咳4人	つつが虫病1人 梅毒1人 百日咳12人	結核1人 クロイツフェルト・ヤ コブ病1人 百日咳5人	百日咳2人	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人 レジオネラ症1人 百日咳1人	
26	結核2人 腸管出血性大腸菌 感染症1人 つつが虫病1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳1人	結核2人 百日咳11人	結核2人 百日咳10人	百日咳1人		

第 25 週の八戸市保健所管内での結核の届出が 1 件取り下げとなりましたので、削除するとともに、クロイツフェルト・ヤコブ病の届出が 1 件ありましたので、追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025年第1週～第25週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	6329	3	23	850	13	3	288	70	11	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症
累積報告数	7	3	2	80	1	8	90	66	206	1
分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	9	4	977	2	221	111	669	13	283	13
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	82	763	387	15	389	47	2226	318	6579	79
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類				
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症				
累積報告数	33	47	35810	6	156	4				

青森県（2025年第1週～第26週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	59	7	1	13	1	5	1	6	1	3
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類				
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	百日咳				
累積報告数	5	1	3	14	11	498				

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025年第26週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第26週	児童・婦人関係施設等	13	八戸市保健所

2025年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月				7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23週	24週	25週	26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0							14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0							235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	1	1	0	1							33
	発症者数	74	228	136	128	25	13	24	0	13							641
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	0	0	0							6
	発症者数	0	37	25	10	5	0	0	0	0							77
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0							1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0							10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4										54
	発症者数	81	335	230	216	41	60										

感染症の窓

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による細菌感染症です。レジオネラ症の主な病型は、重症のレジオネラ肺炎と軽症のポンティアック熱があります。レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱のほか、意識障害、幻覚、手足の震えなど中枢神経系の症状や、下痢も特徴とされています。適切な治療をしなければ、急速に病状が進行し、命にかかわることもあります。

これに対して、ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、一過性のもので、自然に治癒します。

全国では、2020年に報告数が減少したものの概ね増加傾向にあり、青森県では、2024年に過去最多の18人の報告がありました(図)。

レジオネラ属菌は、自然界(河川や土壌など)に生息し、加湿器や給湯設備等で増殖するため、レジオネラ属菌に汚染された細かい霧やしぶきの吸入などによって感染し、ヒトからヒトへ感染することはありません。また、バイオフィーム(細菌で形成される「ぬめり」)に生息するアメーバに寄生し、大量に繁殖しますので、循環式浴槽(追い炊き機能付き風呂、24時間風呂など)を備えている場合は、浴槽内に汚れやバイオフィームが発生しないよう定期的に洗浄・消毒を行いましょう。



○詳しい情報はこちらをご覧ください。📄 [レジオネラ症 Q&A\(厚生労働省 HP\)](#)

